

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高田ニュース

No. 872

11.7.27

山下よしき 参議院議員 原発学習会に120人

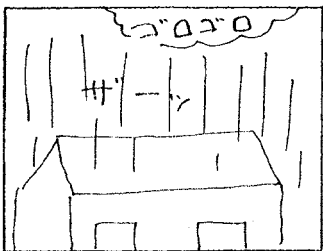
山下よしき参議院議員は、7月23日(土)13時より勤労者総合センターで、日本共産党の山下よしき参議院議員による「原発問題学習講演会が開かれ、私、ひめだは被災地支援活動を報告しました。



山下議員は、前日の国会で世界地図で原発立地の説明

フワの 人々

<655>



とたと指摘。

山下議員は、政府や電力会社がこれまで、原発は5重の安全構造になっていると説明していたが、これは「安全神話」だったと述べ、原子力発電の技術は未確立で制御できないことが確認された以上、撤退しかない主張。まず政治的に撤退を決めた上で、期限を区切って代替エネルギーの開発を進めるべきだし、その可能性はあると指摘しました。

被災地支援報告

私、ひめだの被災地支援報告は、陸前高田市の被災状況と現状と支援の申しについて10分ほど報告しまし

た。また写真の整理ができず、ことばだけの報告で、どこまで伝えたのかはとも思いました。

こんにちは
日本共産党の
ふじい 健太郎
です。
(その299)

先週、ひめだ市議や名草後援会の皆さんと琴の浦を「原発撤退署名」を持って訪問しました。訪問先では、東日本震災からの復興問題や原発の今後が話題になります。大半の世帯が署名に応じてくれますが、中には会社からするなと言われていて、原発がないと電気が足りないのではないかと、といった声も聞かれます。その場での確かな言葉で説明し「わかったよ」と言ってもらうには、なかなか骨が折れます。

関西電力敦賀原発の見学ツアーや原発学習会など各地で計画されていますので、参加して勉強していきたいと思っています。23日の土曜日に、山下参議院議員が和歌山に来て学習会を開きました。国会で笠井衆議院議員が九州電力の「やらせメール」事件を追求した問題やこれがきっかけで玄海原発を皮切りとする全国原発の再稼働をストップさせたことなどわかりやすく臨場感をもって聞くことができました。話を聞くと知らないこともたくさんあり、さらに学ぶ必要を痛感しています。



ふじい 健太郎 前議員

関西電力敦賀原発の見学ツアーや原発学習会な

開発公社が先行取得したものの地元の反対で墓地計画を断念したという経緯があるとしても、約1億7千万円の土地に造成費用が約8億円、利息が4億円、総額で14億8千万円もの投資には賛成できません。

議案第13号、和歌山県住宅新築資金等貸付金回収管理組合規約の変更は、組合議員の定数を五人から八人にするもの。旧同和対策としての貸付金の回収は、貸付窓口の市が自らの責任で

努力すべきで、その責任を放り出す回収管理組合への丸投げでは回収が進まない。08年の設立時に党議員団

岩手・陸前高田市へ 救援隊報告その1

7月12日(火)の朝8時過ぎに日本共産党北部地区委員会から2台の車で和歌山を出発、前泊地の新潟県燕三条のホテルに着いたのは18時頃でした。7人乗りの乗用車には、海南の河野・橋爪市議と下津の斎藤さん、高齢協の福田さんと決

か指摘したとよりの状況となっており。管理組合と市の姿勢が問われ、賛成できません。

田さんが、ワゴン車には、前副委員長と井本常任、松坂市議と私、ひめだと支援物資が乗っていました。私たち9人は、陸前高田市の被災者救援活動を行うための救援隊だったので、支援物資の重みと私の体重がスピードに関係するのが、

こゝにちは 日本共産党



日産自動車の執行役員がテレビで「企業は五重苦十電力不足だ。五重苦とは法人税が高い、人件費が高い」。原発が止

まり、電気料金が高くなる。企業は海外に出る。だから原発の再稼働を早くと言っているのです。

実際は、法人税はソニー

が13%、パナソニック、住友化学は17%です。大企業が海外に出る理由は「市場に近い」「安い労働力」などで、税金ではありません。

原発を早く動かせという人は、4万5千人以上の福島県民が県外に避難しているのをどう見ているのでしょうか。

東日本大震災や原発事故を機に、大企業の構成員がこの国を去ることに、多くの国民が気づき始めています。

常にワゴン車が遅れました。翌日朝、岩手県一関市にある日本共産党両磐地区委員会に向かいました。途中、内島と兵庫の県警が団体で宮城県に向かっているのを聞くと2週間くらい応援に行くことと、昼食時のSAは大混雑でした。

一関インターを降り、まが陸前高田市の救援センターへ。ここは、共産党中里市政を継ぐ「市民の声」が運営するセンターです。藤倉市議が責任者で、7月前半は秋田、後半は大阪、8月は和歌山と、半月単位で3県から12月まで常駐者が送られます。

陸前高田市(地元ではタカタと呼ぶ)の人口は23

164人で死者・行方不明は2182人。家屋の倒壊は3341戸。大津波で市内は壊滅し何もなくなつた状態です。道路はほぼ復旧してませんが、焼け野原みたくない空き地の所々に鉄くずが山と積まれ、残つた建物には窓がなく、あちこちで車がペシャンコになっていました。予想していた悪臭はまったくありません。タカタの支援センターの活動は、①地域を全戸訪問して要望を聞き取ること、②センターで聞く青空市へ全国からの救援物資を無料で配布する(の手伝いの2つです。14日(木)からの活動は、次号で報告します。

読者の投稿。 短歌 勝田 鉄也

金箔の和紙八千を押し切れば 将に安堵の脈搏が打つ 踏押を仕上げて託す宅急便 今は着く頃クレームなきか